

児童自ら課題解決の糸口を見いだせる算数科指導の工夫

— 既習・未習事項との結び付きを考える

「つなげる活動」の設定を通して—

研究構想図

長期研修員

松田 美穂

既習事項を基に、結果や方法の見通しをもち、
自ら課題解決の糸口を見いだすことができる児童

単元を通して繰り返す



つなげる活動 本時の学習と既習事項や未習事項との結び付きに焦点を当てて考える活動のこと

児童の実態
解決の方法が分からないよ
ヒントをもらえるまで待とう

教師の願い
自分の考えをもって、
自ら課題に取り組んでほしい

授業実践 6年生 「立体の体積」

めあて 階段状の立体の体積も(底面積)×(高さ)の考えで求めることができるかな

つなげる活動① 前時までの立体との相違点を観点に結び付きを考える

つなげる活動② 前時との共通点を観点に結び付きを考える

本時

前時までの考え(底面積)×(高さ)

どうして悩んでいるの?

へこんでいるしジグザグだ

今日は嫌しそう

昨日までは(底面積)×(高さ)でできたけれど、今日はできるの?

四角柱

本時

柱体

二つに分ける

底面とみる

前時と同じように考えるにはどうしたらよいか?

分ければできそう!

置き方を変えればできそう!

つなげる活動③ それぞれの考えの根拠を観点に結び付きを考える

つなげる活動④ 柱体の体積(底面積)×(高さ)の考えを観点に結び付きを考える

柱体

公式 (底面積)×(高さ)

$5 \times 10 \times 5 = 250$
 $5 \times 10 \times 10 = 500$
 $250 + 500 = 750$

$(10 \times 10 - 5 \times 5) \times 10 = 75 \times 10 = 750$

なぜその解き方をしたの?

四角柱に分けられるから

一つの式で求められるから

どちらも(底面積)×(高さ)で求められるね

未習課題A

本時

未習課題B

今日の考えを使って、これはできそうですか?

Aは底面がドーナツみたいだ

Bは分けるのかな? 置き方を変えるの?

今日の考え、明日も使えそう!

次に勧めてみたい!

成果 本時の学習と既習事項や未習事項との結び付きを意識し、自ら課題解決の糸口を見いだそうとする児童が増えた

課題 結び付きを考えて顕在化するためには、適用問題に取り組む時間も確保する必要がある

提言 児童が自ら課題解決の糸口を見いだせるようにするために、本時の学習と既習・未習事項との結び付きを考えさせて、結び付きを顕在化させる授業構想をしましょう